

SNOWBUSTERS SKI TEAM



SNOWBUSTERS SKI TEAM

SNOWBUSTERS スキーチーム
基本理念

< スノーバスターズ スキークラブについて >

- ミッション 何をする組織か？ クラブの基本的な方針・理念
- ビジョン 何を目指すか？ 将来実現したいクラブの目標
- バリュー どんな価値観を持つか？ クラブの原則・本質的な価値観

＜スノーバスターズ ミッション（活動理念）＞

雪のある地域、無い地域、健常者、身障者を問わず、スキースポーツを通じ、
青少年の育成に主眼を置き、ジュニアから一貫した指導体系に基づき、
技術・意識・人間性を作り上げ、世界で戦えるスキー選手を育成する。

<スノーバスターズ

ビジョン（目的）

メイドインジャパンで世界と戦える選手を作り出す。

世界で通用する環境を整え、世界を意識できる選手層の厚みを増す事で、
WC・オリンピック・パラリンピック・デフリンピックでの表彰台を狙う。

**SNOW
BUSTERS**
ALPEN SKI RACING TEAM

<スノーバスターズ バリ्यू (価値観)>

- ・ 挨拶で始まり、挨拶で終わる！
- ・ 何事にも誠実に取り組む！
- ・ いつも情熱を持って！
- ・ 卓越するまでやり切る！
- ・ やっぱり根性が一番！
- ・ チームワークを大切に、みんなで頑張ろう！
- ・ もちろん楽しく！！
- ・ いつも元気に！

<スノーバスターズ クラブメンバーの心得>

- ・ チームミッションに基づき、チームバリューをメンバーの一人ひとりが意識することで、必ずチーム・そして自分自身のビジョンを実現させよう！！
- ・ 年上を敬い、年下の面倒を見る事で、一人の人間として成長しよう！
- ・ 驕らず、謙虚に、そして常にチャレンジしよう！！
- ・ 勝つ意欲より重要なのは、勝つために準備する意欲！！
- ・ いちばん大切なのは、覚悟を決める事！！

スノーバスターズ 2024



<カテゴリーによるチームの差別化>

チームとして、ユース世代の育成を強化する為、カテゴリー別にチームをはっきり区別してトレーニングを行う。

区分けは、小学生チーム・中学生チーム・FISチーム・トップチーム

<コーチのカテゴリー固定>

各カテゴリーに担当コーチを配置し、担当チームを責任もって舵取りをし、サポートコーチはその時々で手薄になるカテゴリーをサポートする。

担当コーチは以下の通り

・小学生チーム	高橋将也
・中学生チーム	保坂礼子
・FISチーム	富井正一
・サポートコーチ	松居文智・山本治・生形剛男・高橋和花菜
・統括コーチ	峯村和則
・ヘッドコーチ	富井正一

スノーバスターズ 2024

<登録料>

年間メンバー

¥ 24,0000

(夏季・冬季のTR費フリー)

シーズンメンバー

¥ 17,0000

(11月1日～5月末までのTR費フリー)

大学生FISメンバー

¥ 13,0000

(夏季・冬季のTR費フリー)

各メンバー登録、主要大会引率が可能です。

冬季の大会サポート時はサポート費1日/¥ 2 0 0 0 と、引率経費が別途かかります。



SNOW BUSTERS



2023 シーズン報告

【 2023シーズン活動報告 】

5月21日	クラブチーム総会 2022-23年度活動スタート
6月～7月	トップチーム 欧州遠征（フランス）
6月～10月	ピスラボゲレンデにて、サマースキートレーニング
6月/8月/10月	年3回の体力測定を実施
6月～11月	週末を中心に、野沢温泉にフィジカルトレーニング
8月・9月	8月2回、9月に1回、5日間の合宿を実施

10月～12月	トップチーム 欧州遠征（オーストリア・フランス）
---------	--------------------------

11月～12月	国内チーム 軽井沢合宿
---------	-------------

12月	トップチーム 欧州レース転戦（フランス）
-----	----------------------

	国内レース開幕
--	---------

1月	アジアシリーズ 日本ラウンド 北海道 阿寒
----	-----------------------

2月	アジアシリーズ 韓国ラウンド
----	----------------

3月	アジアシリーズ 日本ラウンド 長野 菅平
----	----------------------

3月	全日本選手権
----	--------

4月	ジュニアオリンピック
----	------------



【レース結果報告】

- 全国高等学校スキー大会
- 全国高校選抜スキー大会
- 全国中学校スキー大会
- ジュニアオリンピック
- インターカレッジ
- 国民体育大会
- 国内国際レース
- 全日本選手権
- アジア コンチネンタルカップ



<全国高等学校スキー大会>

女子大回転

35位	佐藤幸春	長野	長野工業高校	1年
44位	林田優希	神奈川	横浜雙葉高校	1年
67位	山田紗羽	長野	長野俊英高校	1年

男子大回転

4位	保坂 宙	長野	長野俊英高校	1年
24位	高橋駈琉	長野	長野俊英高校	2年
33位	中村和実	群馬	沼田高校	3年
51位	大谷聖司	東京	日体荏原高校	1年
59位	片山航大	鳥取	鳥取城北高校	1年
71位	渡辺琳太郎	愛知	豊田南高校	1年
91位	櫻井翔太	埼玉	城北埼玉高校	2年



<全国高等学校スキー大会>

女子回転

61位	佐藤幸春	長野	長野工業高校	1年
77位	山田紗羽	長野	長野俊英高校	1年

男子回転

6位	保坂 宙	長野	長野俊英高校	1年
8位	深澤崇晴	栃木	足利大付属高校	3年
14位	高橋駈琉	長野	長野俊英高校	2年
38位	平井颯馬	長野	長野俊英高校	3年
95位	渡辺琳太郎	愛知	豊田南高校	1年



<全国高校選抜スキー大会>

女子スーパ－G

26位	佐藤幸春	長野	長野工業高校	1年
55位	林田優希	神奈川	横浜雙葉高校	1年

女子大回転

38位	佐藤幸春	長野	長野工業高校	1年
46位	林田優希	神奈川	横浜雙葉高校	1年
50位	山田紗羽	長野	長野俊英高校	1年

女子回転

28位	佐藤幸春	長野	長野工業高校	1年
33位	林田優希	神奈川	横浜雙葉高校	1年
39位	山田紗羽	長野	長野俊英高校	1年

男子大回転

9位	高橋駟琉	長野	長野俊英高校	2年
15位	保坂 宙	長野	長野俊英高校	1年
20位	富井大作	長野	長野俊英高校	1年
55位	森山太雅	長野	長野俊英高校	2年

男子回転

7位	保坂 宙	長野	長野俊英高校	1年
17位	大谷聖司	東京	日体荏原高校	1年
55位	森山太雅	長野	長野俊英高校	2年

<全国中学校スキー大会>

女子大回転

60位 大谷明莉 東京 浅川中学校 1年

男子回転

103位 渡邊琉生 愛知 豊南中学校 1年

<ジュニアオリンピック>

K2男子パラレルGS

3位 富井大作 長野俊英高校

K2男子大回転

15位 富井大作 長野俊英高校

K1男子大回転

57位 長谷岳飛 北山小学校



<インターカレッジ>

男子SG

4位 中村拓幹 日本大学

女子SG

2位 太田朱里 法政大学

女子GS

2位 渡邊愛蓮 東海大学

3位 山本天嶺 日本大学

男子SL

4位 中村拓幹 日本大学

女子SL

6位 天野ひかり 日本大学



<国民体育大会>

成年男子A組

10位 小柳一葉 長野 東洋大学

成年女子A組

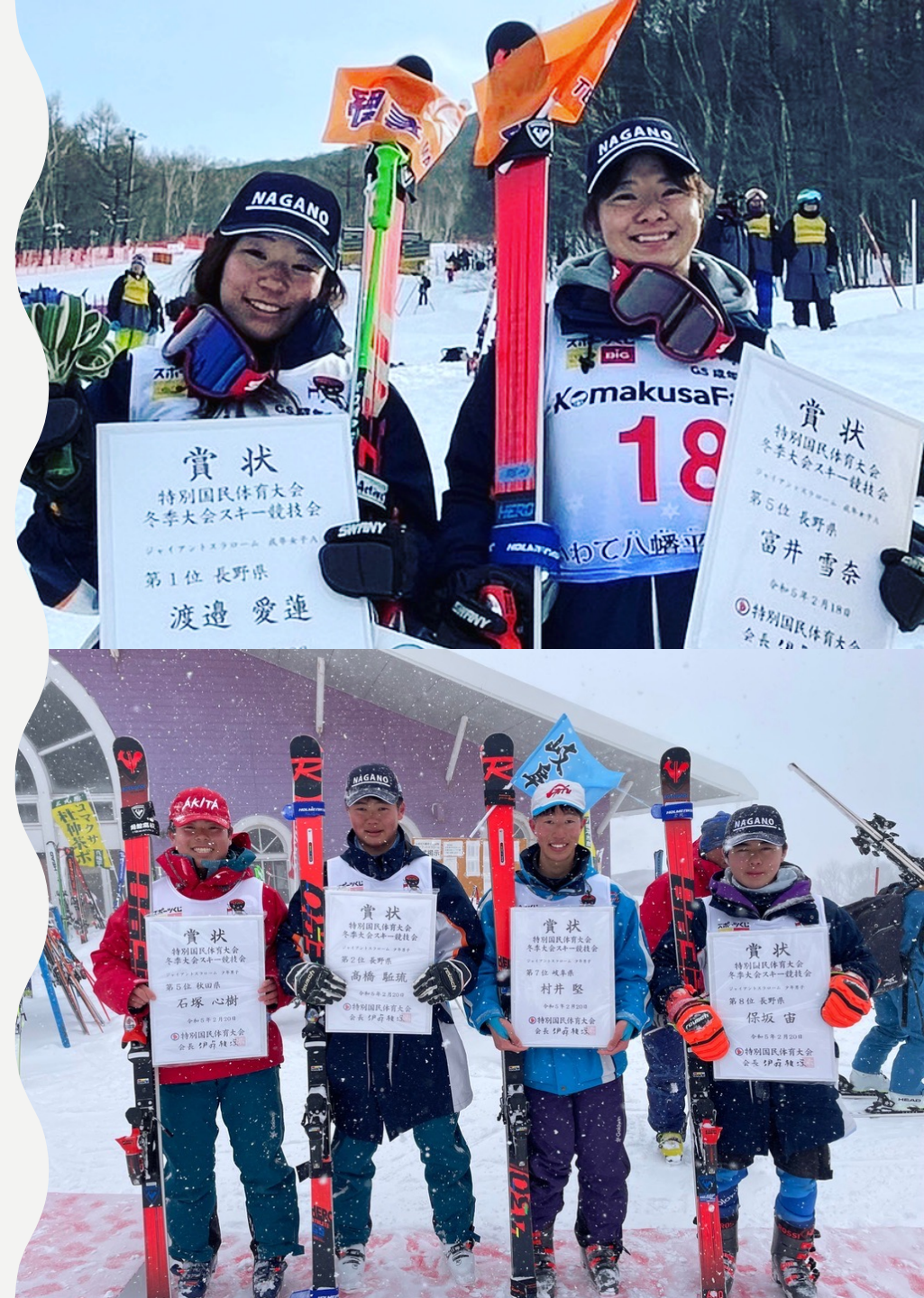
優勝 渡邊愛蓮 長野 東海大学

5位 富井雪奈 長野 ホクトスキークラブ

少年男子組

2位 高橋駈琉 長野 長野俊英高校

8位 保坂 宙 長野 長野俊英高校



<国内国際レース>

12月

阿寒NJR スラローム

男子SL	3 位	中村拓幹	日本大学
女子SL	4 位	天野ひかり	日本大学

1月

菅平マックアースカップ

女子GS	優勝	太田朱里	法政大学
	2 位	高橋和花菜	日本大学
	3 位	山本天嶺	日本大学

蔵王ライザスラローム

SL第1戦	優勝	小柳一葉	東洋大学
SL第1戦	優勝	小柳一葉	東洋大学



2月

<全日本学生チャンピオンシップ>

女子GS第1戦

2位 太田朱里 法政大学

3位 高橋和花菜 日本大学

女子GS第2戦

優勝 太田朱里 法政大学

女子SL第1戦

2位 天野ひかり 日本大学

女子SL第2戦

優勝 天野ひかり 日本大学

女子SG

3位 太田朱里 法政大学



3月

<菅平マックアースカップSL>

女子第1戦

4位 富井雪奈 ホクトスキークラブ

女子第2戦

2位 富井雪奈 ホクトスキークラブ

4位 渡邊愛蓮 東海大学

<阿寒 セコマカップ>

男子SL

6位 戸谷 棕 中央大学

女子SL

優勝 富井雪奈 ホクトスキークラブ

2位 渡邊愛蓮 東海大学

<阿寒 ゴールドウィンカップ>

男子SL

6位 戸谷 棕 中央大学

女子SL

優勝 渡邊愛蓮 東海大学

2位 富井雪奈 ホクトスキークラブ



4月

＜野沢温泉カップ＞

女子GS第1戦

優勝	渡邊愛蓮	東海大学
7位	保坂 花	中央大学

女子GS第2戦

優勝	渡邊愛蓮	東海大学
8位	保坂 花	中央大学

女子SL第1戦

優勝	渡邊愛蓮	東海大学
2位	富井雪奈	ホクトスキークラブ
6位	天野ひかり	日本大学

女子SL第2戦

2位	富井雪奈	ホクトスキークラブ
3位	渡邊愛蓮	東海大学

＜八幡平スラローム＞

第1戦

2位	富井雪奈	ホクトスキークラブ
----	------	-----------

第2戦

優勝	富井雪奈	ホクトスキークラブ
----	------	-----------



©WATANABE Shin



<全日本選手権>

女子大回転

2位 渡邊愛蓮 東海大学

<パラスキー ジャパンカップ>

男子大回転第1戦

優勝 小池岳太 JTB

男子大回転第2戦

優勝 小池岳太 JTB

<パラ世界選手権>

男子大回転

13位 小池岳太 JTB



<アジア コンチネンタルカップ日本シリーズ阿寒ラウンド>

女子大回転大 2 戦

3位 渡邊愛蓮 東海大学

女子回転第 1 戦

3位 渡邊愛蓮 東海大学
4位 富井雪奈 ホクトスキークラブ

女子回転第 2 戦

2位 富井雪奈 ホクトスキークラブ



©WATANABE Shin



<アジア コンチネンタルカップ 韓国シリーズ>

女子回転第3戦

7位	富井雪奈	ホクトスキークラブ
13位	渡邊愛蓮	東海大学

女子回転第4戦

9位	富井雪奈	ホクトスキークラブ
11位	渡邊愛蓮	東海大学

女子大回転第3戦

7位	渡邊愛蓮	東海大学
----	------	------

女子回転第6戦

5位	渡邊愛蓮	東海大学
----	------	------



<アジア コンチネンタルカップ 韓国シリーズ>

女子回転第5戦

4位 渡邊愛蓮 東海大学

女子回転第6戦

優勝 富井雪奈 ホクトスキークラブ

4位 渡邊愛蓮 東海大学

<日本シリーズ 菅平ラウンド>

女子大回転第5戦

6位 渡邊愛蓮 東海大学

12位 天野ひかり 日本大学

女子回転第7戦

6位 渡邊愛蓮 東海大学

女子回転第8戦

2位 渡邊愛蓮 東海大学

12位 天野ひかり 日本大学



【2023-24シーズン活動予定】

5月	フィジカルトレーニング スタート
5月20日	チーム総会
6月1日～25日	トップチーム フランス遠征 スキーテスト
8月	トップチーム 南米遠征 レース転戦
10月	トップチーム 欧州遠征 TR & Race
11月	国内チーム 雪上トレーニングスタート
11月	中国遠征・レーススタート
12月	国内レース開幕
1月	コンチネンタルカップ開幕
2月	各世代 タイトルレース開催
3月	全日本選手権

<ユースチーム> 18名

- コーチの連携不足や、雪の状況により、トレーニングバーンに偏りが出てしまったため、急斜面でのトレーニングが不足した。
来季は、積極的にカンダハーコースを使用すると共に、牧の入の急斜面がオープンするので、急斜面でのトレーニングを増やしたい。
- 1年生が多く、今季全国大会に参加できた選手は少ない、ユースチームの強化が急務であることは間違いない。
チーム編成をしっかりとて、全体の押し上げを行う。
ウェイトトレーニングを取り入れ、早い段階からフィジカルを強化する。

2023シーズンの振り返り

<ジュニアチーム> 18名

- レースが続くため、シーズン中にフィジカルが落ちてしまった選手が多く見受けられた。
シーズン中でも、積極的にフィジカルトレーニングの時間を作り、チーム全体でフィジカル強化を継続してゆく気持ちを共有する必要がある。
- ユースで成績を残した選手達がジュニアに上がったが、思うような成績を残すことが出来なかった。
メンタル面を含め、大事なところで勝負できない様子が多く見られた。
フィジカル面と共に、しっかりメンタル面もコーチングしていきたい。

2023シーズンの振り返り

<カレッジチーム> 22名

- 人数も増え、チームとして夏からフィジカル強化を行うことが出来た。
各地のレースで、数多くの優勝と表彰台を獲得し結果を残してくれた。
女子の活躍が目立ったが、男子にも期待したい。
- 大学カテゴリーの枠を超えて、もっと大きなレースでの活躍を期待する。
上のカテゴリーへ積極的にチャレンジしなければならない選手が多く見られ、このチームからトップチーム入る選手の排出が求められる。

2023シーズンの振り返り

<トップチーム> 3名

- 今季の目標の1つであった、コンチネンタルカップのタイトル獲得は叶わなかったが、優勝1回、2位2回など、富井・渡邊の2選手がタイトル争いに絡み、最後まで争うことが出来た。
- もう1つの目標であった全日本選手権のタイトルも獲得を逃した。
GS種目では2位と、あと一步でタイトルを取れる戦いが出来たが、得意種目のスラロームでは、2名とも途中棄権となり、ジュニアチーム同様に大事なところでの戦い方がポイントと感じた。
ここ一番の勝負で、気持ちの弱さが出たように思える。
- パラの小池選手は、夏からの取り組みが功を奏し、キャリアで最も良いシーズンとなった、パラ世界選手権13位は立派、またジャパンカップのGS 2連勝も価値がある。

【 2 0 2 4 シーズン 目標 】

<ユースチーム>

- ・全国中学校スキー大会入賞 2 名
- ・ジュニアオリンピック入賞 2 名

<ジュニアチーム>

- ・インターハイ 優勝・入賞 2 名
- ・世界ジュニア・ユースオリンピック出場

<カレッジチーム>

- ・インターカレッジ 優勝・入賞 4 名
- ・トップチーム 2 名昇格

<トップチーム>

- ・ワールドカップ出場
 - ・アジア・コンチネンタルカップ種目別タイトル獲得
 - ・パラ ワールドカップ 3 位以内
- 



***SNOW
BUSTERS***

ALPEN SKI RACING TEAM